

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名 一般国道168号 <small>かみしよ</small> 上庄バイパス	事業区分 一般国道	事業主体 奈良県
起終点 自：奈良県生駒郡平群町椿井 至：奈良県生駒市小平尾	延長 4.2 km	
事業概要 一般国道168号は、和歌山県新宮市から奈良県を経て大阪府枚方市に至る延長約176kmの幹線道路である。上庄バイパスは、交通混雑の緩和と歩行者の安全を確保し大和平野の発展を支援する延長4.2kmの2車線道路である。		
S48年度事業化	S51年度都市計画決定 (H8年度変更)	S48年度用地着手 S56年度工事着手
全体事業費	約 96億円	事業進捗率 69% 供用済延長 3.2 km
計画交通量	12,700～14,600台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 41/114億円 (事業費：40/110億円 維持管理費：1/4億円) 総便益 (残事業)/(事業全体) 69/172億円 (走行時間短縮便益：61/162億円 走行費用減少便益：5/7億円 交通事故減少便益：3/3億円)
基準年 平成15年		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（現道等における大型車のすれ違い困難区間が解消される） ・災害への備え（緊急輸送道路ネットワークに位置づけがある。（第2次） 他4項目に該当する。		
関係する地方公共団体等の意見 上庄バイパスは、交通渋滞の緩和や歩行者の安全確保が期待されており、生駒市議会より早期整備の要望（H14年10月）を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 宅地開発に伴い、人口、交通量ともに増加傾向にある		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地買収率（面積）87%、工事進捗率（事業費）51%であり、3.2km部分供用している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収交渉の難航により遅延していたが、未買収地の用地取得に努め事業の進捗を図る。		
施設の構造や工法の変更等 特になし		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらない。	
事業概要図		
 <p>位置図（奈良県） 上庄バイパス</p>	 <p>上庄バイパス L=4.2km L=0.5km L=3.7km L=0.2km</p>	

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。